

予算審査特別委員会審査報告書 委員長 末田健治

審査委員会は議長を除く全議員で構成され、3月7日から3月11日までの5日間にわたり慎重に審査いたしました。審議にあたって理事者側の出席は、町長をはじめ、教育長、病院事業管理者、該当担当課長等の説明員として出席を求め、それぞれの議案について説明を受け、その後に細部審査を行いました。

採決の結果を申し上げます。

初めに、議案第5号は小島委員から提出された修正案について、起立表決の結果、全会一致で可決すべきものと決定いたしました。次に、修正部分を除く原案についても、起立表決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、議案第1号、議案第4号、及び議案第6号から議案第15号までの条例の制定及び一部改正の12議案、そして議案第30号から議案第39号までの令和6年度予算の10議案は、簡易表決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以下については分野別主要事業について述べます。

【後期基本計画 分野別主要事業等】

1. 定住・人口対策について

・豊かな自然と都市との近接性を活かした安芸太田町のライフスタイルを提案し、移住の促進・転出抑制を図るとともに、関係人口の拡大に向けた地域のブランディングを促進することについて

① 定住住宅整備事業は社会資本整備総合交付金、過疎対策事業債を活用してのPFI事業は、移住・定住希望者の方に住居の選択肢を増やし、移住や定住を促進し、民間ノウハウと未利用公有地を活用した住宅整備は、今後の活用計画のモデルともいえます。なお、整備候補地選定については、事業者の意志は尊重しつつも、建設箇所の選定には慎重に検討の上決定されたい。

・通学応援・町外通勤者応援助成事業について

② 町外通勤者応援助成事業は転出抑制策として、広島市等町外に通勤されている方を対象に、通勤費を助成する制度に年齢の要件緩和措置等を拡充され運用されてきた。今後、事業効果について検証されたい。

2. 子育て・教育・次世代育成について

豊かな自然と人情の中で、安心して子供を産み、子育てしやすい環境と、就学前から小・中・高までが連携した教育による、次世代育成の体制を整えていくことについて

① 生徒寮の開設、公営塾の運営や全国募集により、令和5年度は40名の生徒が入学している。引き続き「黎明館」の拠点機能を、地域住民との交流施設として、拠点機能を果たすべく運営を望みます。

3. 健康・医療・福祉について

多様な主体が連携して取り組む、健康づくり活動を促進し、安心して住み続けることが出来る地域包括ケアを実践することについて

- ① 新型コロナウイルス感染症対策については、特例臨時接種が終了し、定期接種となることから、円滑な接種体制の維持に努められたい。
- ② 病院施設の環境整備については、管理者・医師・その他スタッフの皆さんによる努力の結果、令和5年度、病院機能評価の認定を取得されました。安芸太田病院の評価が上がることはもちろん、医療を受ける患者さんにとって、大きな安心感につながるものと評価します。今後も環境整備に努められ、地域医療に貢献される病院としての運営にあたられることを望みます。
- ③ 母子保健事業については、町外の医療機関受診による交通費補助、小児科専門医受診前の心配事を解消する、オンラインによる小児科や産婦人科医師に相談できる体制整備は、受信者家族の安心につながるもので、引き続き効果が上がるよう取り組んで頂きたい。
- ④ 健康運動普及事業「健康のまち」の取り組みについては、有酸素運動を中心とした運動習慣の普及・定着に努められ、健康づくりの取り組みを評価します。一層の普及を図られたい。

4. 社会基盤・防災・防犯について

- ① 加計スマート IC フルインター化事業については、令和5年度新規事業個所に選定され、令和6年度は地質調査業務等が予定されている。今後も国土交通省、広島県、ネクスコ西日本と連携し、着実な事業の執行を図ると共に、本事業が地域活性化に資する整備が進む事を期待します。
- ② 空き家解体補助事業については、町民の安心・安全・快適な生活を確保するための補助制度であり、今後も増えると予想される老朽空き家の課題に対処するための事業として、今後も充実に努められたい。

5. 生活利便性・環境について

- ① バス路線運行事業については、令和6年度から町全域を区域とする「新公共交通システム」の運行が開始されます。町民の利便性向上に向け、効果的な取り組みに期待します。
- ② 地域通貨 morica の推進については、地域経済への効果もあり、引き続き効果的普及に努められたい。
- ③ ごみ・し尿処理については、一般廃棄物の適正処理と資源の有効利用、循環型社会構築に向けて、法制度を踏まえた施策について、有効な取り組みを図られたい。

6. 産業・観光・しごとについて

- ① 道の駅再整備事業については、令和6年度選定した民間事業者の提案内容を精査し、施設整備・運営の包括契約を締結し、実施設計に着手という手順で進行中です。今後も引き続き町民への情報提供に努められ、令和9年オープンの事業完成に向け、確実な事業の進行を図られたい。
- ② 地域商社あきおおたの事業推進については、森林資源等を活かした体験型観光コンテ

ンツ開発等に取り組まれているが、地域ブランド力向上のための情報発信や新商品開発等について、町民には取り組みが見え難く、町民との一体性に欠けています。今後課題克服に向け、情報発信を工夫し、町民にとって親しまれる商社としての事業活動を行い、地域活性化に寄与されたい。

③ 森林経営管理事業の小規模林業支援事業については、森林環境譲与税を活用し、間伐や住家裏危険木の除去等、小規模林業者が取り組む環境づくりは、森林環境譲与税の有効的活用であり、引き続き事業の継続が期待されている。

④ 特割事業については、地域通貨 morica 活用による利用額に応じたポイント付与は、町内消費を促し、町内経済活性化に効果がある取り組みであると評価します。一方、morica が利用できない事業所もあり、利用者の利便性向上に努められたい。

7. コミュニティについて

① 地域振興交付金事業については、自治振興会の機能低下が心配される現状にあって「とんど」や「まつり」等、地域行事が対象となる「地域づくり事業補助金」を創設され、地域づくり活動の発展を目指す取り組みは、時機を得たものと評価します。

② 地域おこし協力隊については、8名が活動中であるが活動内容が見えにくいという声もあり、活動報告会以外でも情報発信に工夫が必要と思われます。

③ ふるさと納税推進事業については、寄附金額は過去最高を更新しており、担当課の取り組みを評価します。返礼品について、ブラッシュアップを図り、納税の拡大に期待します。

8. 行財政運営について

① 第3次長期総合計画策定については、令和7年度からの町づくりの基本方向を示す計画づくりであり、住民の参画と意見反映が重要である。活力あるまちづくり維持の計画となることを期待します。

② 合併20周年については、20周年節目の記念事業を計画されています。町民の皆さんと共に祝う事業であり、町民の皆さんも改めて安芸太田町に愛着と誇りを覚える企画となるよう期待します。

終わりに、橋本町長4年間の事業成果を踏まえた、令和6年度新年度予算について審査を行いました。この間人口減少対策を軸に置いた加計高校生徒寮「黎明館」の建設、道の駅再整備、加計スマートICフルインター化の事業決定、また懸案であった旧JR橋梁滝山橋撤去や、新しい地域公共交通の構築等々、多くの事業をタイムリーに実施されてきました。町長をはじめ職員の皆様には、健康に十分留意され、令和6年度の各事業に取り組んで頂きたいことを申し添えさせていただきます。

以上、予算審査特別委員長報告とします。